

# 冬の交通安全だより



平成30年12月発行  
芦屋市都市建設部建設総務課

早いもので、もう12月（師走）となりました。年越しの準備など何かと忙しいこの季節、寒さもあり気持ちが焦ってしまいますよね。道路を横切った方が早いから…と斜め横断、赤信号だけど車や人はいないし…と信号無視などしていませんか？ちょっとくらい…という気持ちが交通事故に繋がります！病院で年越し、なんてことにならないようご注意ください。

## \*年末の交通事故防止運動がはじまります！

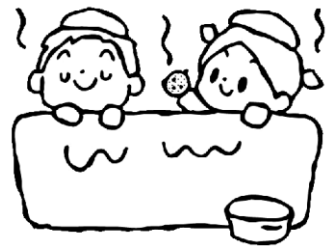
あわただしくなる時期ですが、ひと呼吸おいて気持ちにゆとりを持ちましょう。

<期間>

平成30年12月1日（土）～10日（月）までの10日間

<運動の重点>

- ① 子どもと高齢者の交通安全
- ② 飲酒運転の根絶
- ③ 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ④ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



## \*自転車交通安全教室を開催しました！

10月27日（土）、夏号・秋号でお知らせしていた自転車交通安全教室を開催しました。今年度は定員を超える応募があり、たいへん賑やかな教室となりました。



まずは学科講習です。DVDや確認テスト、警察官の講話で交通ルールを学びます。車道を走るなどの基本的なことから、意外と知られていない標識の意味や走り方など、一つ一つ確認します。

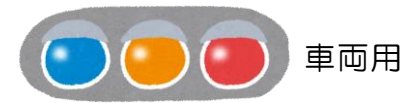
次に実技講習です。川西運動場に用意されたコースを、一時停止・信号遵守・車道を左側走行など、交通ルールを守って走行します。参加者のみなさんも“免許証はなくても、自転車に乗ったら運転手”という意識を持って走行していました。

来年度も開催予定ですので、みなさんお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください！

## \*ちょっと待って！そこ、信号あります！！

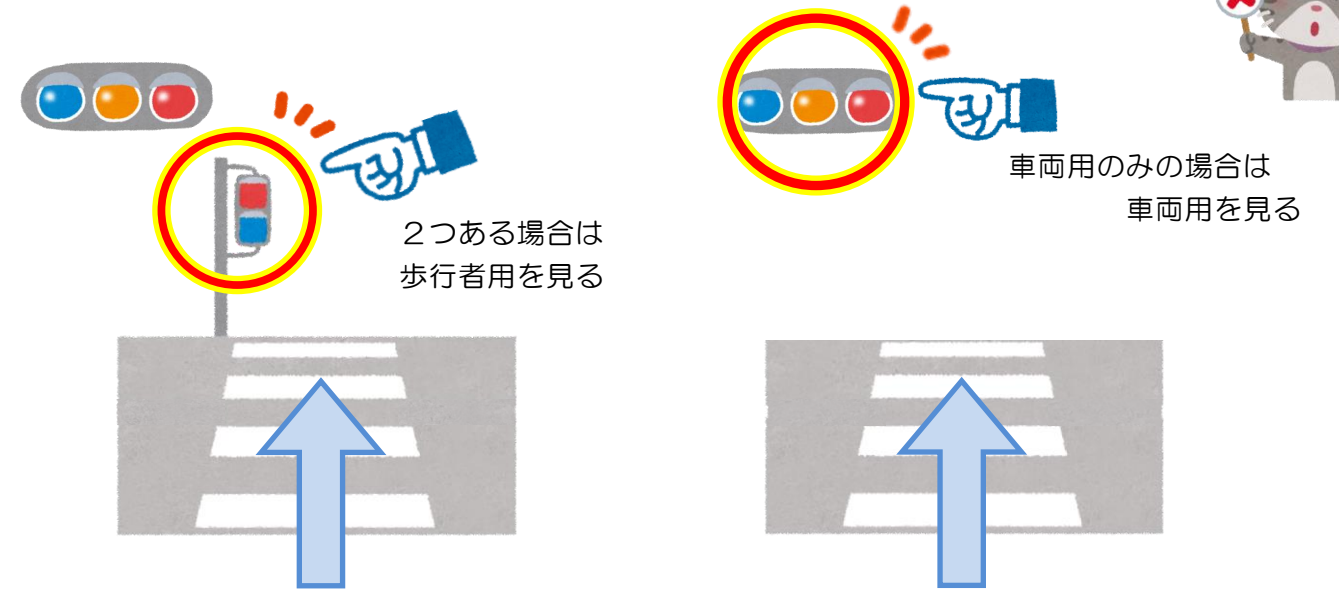
道路を横断するとき、まずは横断歩道を探しますよね。次に、信号があるか確認します。ご存知のとおり、信号には歩行者用と車両用があります。歩く人は、2つの色の歩行者用信号を見て渡らなければなりません。

では、歩行者用がない場合は？車両用だけなら、歩く人には関係ないのでしょうか？



実は歩行者用信号がなくても…

**進行方向に車両用信号がある場合は、それに従って渡らなければなりません！**



こんな場所は市内にも…（一例）

岩園公園南の交差点・・・南北には歩行者用信号があるが東西は車両用のみ  
開森橋西側の交差点・・・横断歩道も歩行者用信号もない道（車両用信号のみ）

子ども達の交通安全教室でも信号について伝えていきます。

しかし、市内の小学校に下校指導へ行くと、一部の児童が赤信号を平気で渡っています。

理由を聞くと…

- ・横断歩道の上を避ければ信号は関係ない
- ・歩行者用信号がない場所は好きに渡ってもいい
- ・赤でも車が来ていないか確かめて渡れば大丈夫 など



今後交通安全教室や下校指導を通して、子ども達に交通安全を呼び掛けていきます。ご家庭でも今一度、信号のルールなどについてお子さんと再確認をお願いします。

そして、私たち大人はどうでしょうか。きちんと交通ルールを守っていますか？命は1つしかありません。事故に遭ってからでは遅いのです。



小村

横断歩道を渡るときは、安全確認だけでなく自分の進みたい方向に信号があるかも確かめましょう。



山本